

評 価 基 準 書

区分	評価項目	評価の視点	評価得点 【最低水準点】
1. 業務体制・対応力	(1)業務執行体制の明確化	本業務を円滑に遂行するための業務責任者及び主な従事者が明確に示され、役割分担や連携体制が適切に整理されているか。	40 【16】
	(2)協議・連絡体制の妥当性・対応姿勢の誠実性	本市との協議・連絡体制について、具体的かつ実効性のある体制が提案されており、円滑な業務遂行が期待できるか。本市の意見や要望を尊重し、誠実かつ柔軟に対応する姿勢が示されているか。	
2. 業務実績	(1)事業遂行に必要な実績	プレコンセプションケアに関する業務を1年以上、営んでいることが具体的に示されているか。	20 【8】
3. 業務趣旨の理解 ・提案の妥当性	(1)業務趣旨の理解	本業務の目的及び背景を正しく理解しているか。若年層等、多様な市民が理解しやすい情報とするため、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた配慮や工夫について提案書に具体的に示されているか。	50 【20】
	(2)提案内容の実現性	提案内容が現実的で実現の可能性が高いと判断できるか。	
4. 編集・構成に関する 提案内容	(1) 構成の分かりやすさ・情報整理・演出の工夫	市民目線に立ち、情報を分かりやすく伝えるため、全体構成や画面構成について、考え方が明確示されているか。プレコンセプションケアを啓発するため、若年層に響くトレンドを取り入れた表現手法が提案されているか。	40 【16】
	(2)視聴者を引き付ける工夫	プレコンセプションケアを啓発するため、視聴者を惹きつける工夫があるか。飽きさせないストーリー展開、共感性の高い構成となっているか。	
5. 価 格	参考見積書	(1－参考見積額／提案限度価格)×50点(小数点以下切捨て)	50
合 計			200

※評価点は、選考委員一人あたりの配点であり、【 】内の数値は最低水準点である。

※各項目において、選考委員5名の評価点の平均が一項目でも最低水準点に満たない場合は失格とする。